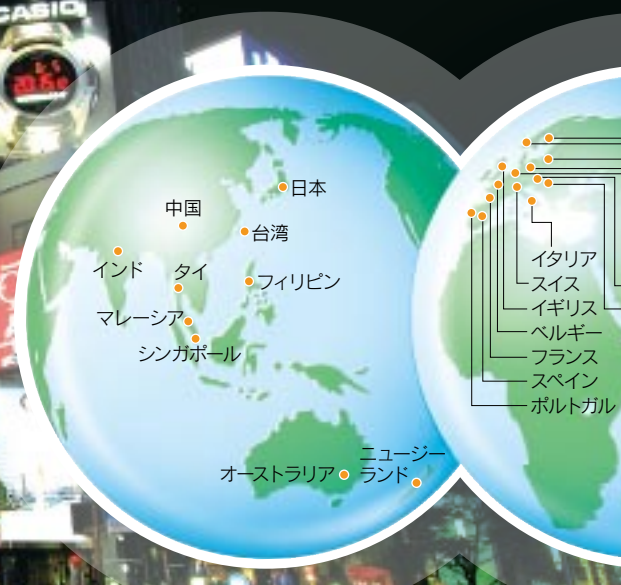


Think & Act! 地球環境について考え、行動する日。 世界38カ国・地域、約46,000人に参加者が拡大しました。

2007年6月5日、リコーの広告塔7カ所、看板37カ所が消灯。世界各地のグループ社員がエコアクションを行いました。

- 呼びかけたアクション ---
1. 日中からこまめにスイッチを切り、省エネを心がけよう。
 2. 仕事を早めに終わらせ、職場の電気を消して帰ろう。
 3. 家庭でも電気を消して、環境について家族と話そう。
- 広告塔や各事業所の看板などの消灯
 - その他、各社・各事業所での独自のアクションの実施



詳細は、<http://www.ricoh.co.jp/ecology/info/2007/ecoaction.html>

背景写真：銀座、三愛ドリームセンター屋上看板の消灯

世界環境デーに開催し、広がったアクションの環。 CO2削減効果は推定で約15トン。

「リコーグローバルエコアクション」は、社員の意識啓発を目的にした環境イベントです。第2回目となった2007年は、情報発信に工夫を凝らし、各国語ポスターやパソコン壁紙の制作、メールや社内放送、参加メッセージのネットワーク上での公開など積極的な呼びかけを行いました。その結果、前年を大きく上回る38カ国104社、約46,000人が参加を表明し、各地でさまざまな活動が行われました。また、開催日を国連世界環境デーに合わせたことでお客様、政府、NPOなど外部の方の参加も増え、アクションの環がさらに広がりました。これらの活動によるCO2削減効果は推定で合計約15トンです。

日本 46社

本社では定時退社とオフィスの消灯に重点。

定時退社を呼びかけるポケットティッシュ配布やメール配信を行い参加者が拡大。この日の本社事業所の削減効果は電力で約900kWh、CO2で約335kgでした。

参加者の声

本社エントランスに「かえる君」がいたのが楽しかった。



募集したエコ川柳を掲示 (御殿場事業所)

定時退社を呼びかけるティッシュを配布 (本社)

アジア・パシフィック/インド 8カ国・地域 11社

シンガポールではNPO、政府、企業が協働参画。
 リコーアジアパシフィックはシンガポール環境カウンセルと協働で外部へ呼びかけを行った結果、企業、官公庁、学校、病院など18団体がエコアクションに参加。その後の活動報告会では、参加企業から「呼びかけてもらって感謝」「来年も参加したい」などの声が聞かれました。リコーインドでは街頭でのキャンペーン活動、レニエオーストラリアはお客様と植林活動を実施しました。

参加者の声 街頭キャンペーンは省エネ意識を高める効果がありました。



NPO団体、シンガポール環境カウンセルの皆さんと(リコーアジアパシフィック)



お客様と一緒に植林活動を実施(レニエオーストラリア)



街頭でキャンペーンの呼びかけ(リコーインド)

参加国・地域一覧



米州 14カ国・地域 16社

新たに広がったエコアクションの環、中南米から12社が参加。

中南米からの参加が増え、今回は12社が加わりました。また、リコーアメリカズコーポレーションが蛍光灯型電球を社員に1個ずつ配布し、導入促進。レニエドミニカーナでは部署別のチームが水・エネルギー・自然などについて学んでプレゼンテーションを実施しました。

参加者の声 環境について共有し、学ぶことができた記念すべき日となりました。



昼休みに車を使わないように弁当を持参したアクション(リコーエレクトロニクス)



自然について発表したグリーン・チーム(レニエドミニカーナ)

欧州 14カ国 26社

エコアクション期間中に排出したCO₂をオフセット。
 リコーヨーロッパでは、エレベーターの停止やエコ通勤のほか、植林などにより期間中に排出されるCO₂のオフセットを行いました。また、リコーイタリー全支社ではトロピカルモーニングと名付け、午前中はエアコンをオフにしました。

参加者の声 エコアクションは社員に浸透しています。



自転車でエコ通勤(リコーヨーロッパ)



"Ricoh Eco Logo"のジャケットを身につけて自転車通勤(GRAM:イギリス)

中国 5社

理光通運では、仕入先企業にもアクションを呼びかけ。
 リコーアジアインダストリー、上海理光、東北理光では、全社で定時退社やバス・自転車通勤、省エネ活動などを実施しました。リコーチャイナは上海長寧区の環境イベントに協賛しました。

参加者の声 環境保全に関心を持ってもらえた。



エコアクションタオルの当選者(リコーアジアインダストリー)



オフィスの消灯(理光通運)